

学校目標・経営方針		1 自ら考え、自ら判断し、自らの考えをもって主体的に行動しようとする生徒 2 他者を尊重し思いやり、他者のために動くとする生徒の育成
本年度の重点目標	1 「心に灯をともし」教育の実現のため、「主体的・対話的で深い学び」の視点による授業改善をとおして特色ある教育活動を展開し主体性を育むとともに、教科内における指導法等の情報共有の促進及び個に応じた指導の充実を図る	A ほぼ達成できた。(8割以上)
	2 「心に灯をともし」教育の実現のため、総合的な探究の時間・課題研究・探求サプリアを中心とする探究活動・体験活動の充実を図るとともに、成功体験等により、自己肯定感・自己有用感の醸成に努める	B 概ね達成できた。(6割以上)
	3 「心に灯をともし」教育の実現のため、学習活動、部活動、学校行事等それぞれの機会において、「育てたい力」を意識した指導を行うとともに、教育活動のすべてに全力で取り組むことができる環境づくりに努める	C 不十分である。(4割以上)
		D 達成できなかった。(4割以下)

評価	4 良くできている。
	3 できている。
	2 あまりできていない。
	1 できていない。

自己評価					
本年度の重点目標		年度末評価(2月14日)			
番号	評価項目	具体的方策	方策の評価指標		
1	「心に灯をともし」教育の実現のため、「主体的・対話的で深い学び」の視点による授業改善をとおして特色ある教育活動を展開し主体性を育むとともに、教科内における指導法等の情報共有の促進及び個に応じた指導の充実を図る	① 管理職授業参観や相互授業参観等に多くの教員が参加し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、ICT活用を含めた授業改善の促進を図る	授業参観票 教科会議での振り返り		
		② 自ら考え深め、考察する力の育成のために、主体的活動や対話的活動ができる場面を設定する	授業アンケート レポート・プレゼンの自己および他者評価		
		③ 研修主事を中心に指導方法、ICTおよびデジタルデータの活用、観点別評価等について全教員間で情報共有を行い、個に応じた指導の充実を図る	教員アンケート 授業アンケート		
			自己評価結果	達成度	成果と次年度への課題・改善策
			・課題の量が「多い」と感じている生徒が存在する。 学校評価アンケートの記述部分で「冬休みの課題が多い」と回答した生徒、1学年の総括アンケートの「今年困ったこと」の問いに「課題が多い」と回答した生徒が少なからず存在する。(1学年)	B	・各教科に必要な課題を出しており、個々の量で考えると例年並みか少ない教科もあるのが実情であるが、時期によっては負担を感じることもあったと思われる。その上で以下に課題を提示していく。 ・課題の改善を早く行い、生徒が学習計画を立てられるようにする。 ・各教科において繰り返し課題の意義や必要性また評価について説明する。 ・学年集会やホームルームを利用して卒業生のデータをもとに課題の取り組み状況と進学の相関関係を説明する。 ・各教科やホームルームにおいて学習の取り組み方、計画の立て方といった方法論についての指導を充実させる。 ・学校評価アンケートにおいて「先生は、わかりやすい授業をしてくれる」に肯定的に回答した割合は92.3%、1年(97.6%)、3年(96.4%)と比較して低い傾向がみられる。 ・22%の生徒が55分授業は、学習内容の充実等、効果をあげているとは言えないと考えている。(3学年)
2	総合的な探究の時間・課題研究・探求サプリアを中心とする探究活動・体験活動の充実を図るとともに、成功体験等により、自己肯定感・自己有用感の醸成に努める	① 総合的な探究の時間やLHRを活用し、自分の考えを整理し、グループで意見を交換する等の協働活動をおしてコミュニケーション能力や協調性の醸成を図る	レポート評価 教員・生徒アンケート		
		② キャリア教育推進のための学校行事(インターンシップ・ミニ大学・職業人講話等)の継続・発展を図る	生徒アンケート 計画実践報告		
		③ 生徒の自主的な探究活動をサポートする「課題研究」や「探究サプリア」の時間の充実を図り、3年間を見据えた「総合的な探究の時間」を構築する	計画・実施について検証 教員・生徒アンケート		
		④ 各種行事の運営に当たっては、学年や分掌等の協働体制を構築し、担任等の負担の軽減を図ると共に、生徒に達成感を与えるように努める	学校行事アンケート		
3	「心に灯をともし」教育の実現のため、学習活動、部活動、学校行事等それぞれの機会において、「育てたい力」を意識した指導を行うとともに、教育活動のすべてに全力で取り組むことができる環境づくりに努める	① 生徒が主体的に計画する行事の活性化を図ることにより、帰属意識の醸成と互いに支えあう集団を育成する	学校行事アンケート		
		② 部活動、学校行事、ボランティア活動等に積極的に参加させ、充実感や達成感を体感させることにより、豊かな人間性の育成を図る	生徒アンケート		
		③ 交通マナーの向上や挨拶の励行等について継続的に指導することにより、社会性の向上を図る	教員・生徒アンケート		
		④ 部活動の運営や指導に当たっては、正副顧問や担当者間の連携により、持続可能な部活動の環境づくりに努める	教員アンケート		

学校関係者評価	
実施日(令和6年2月15日)	
評価	意見・要望等
3	・授業見学でも丁寧な授業準備、対話的にすすめる様子がみられました。どの先生も生徒に考えさせていて、その意見をクラスシェアしている様子もあった。 ・色々な活動が生徒主体で行われていることが大変素晴らしいと思う。コロナ禍で出来なかったことが従来の形に戻りつつあり喜ばしい。 ・BYODの活用について、全体的なアンケート結果は良好であり取組の成果が見られる。記述アンケートの課題については、記述しなかったが同じ思いの生徒や保護者もいると思われる。より活用されるよう教育内容の工夫や環境の改善を整える必要があると思われる(学校だけの問題では無いと思う)。 ・たくさんの保護者の考えがあり、また保護者もはじめてのことが多く戸惑うことも多いので、丁寧な説明が必要だと思う。ICTの活用も始まったばかりで、親もICT活用の理解に差があるので、何をするために購入するのか、スマホではできないことをつたえらるなど、東高校への期待があるから厳しい意見だと思ふ。 ・記述アンケートからでは、課題、自学などについて記載されていた。ここまで書けること自体がアンケートに真摯に参加し、学習について考えているのだと思う。課題、授業の進行、評価などもう一度振り返り先生方の共通認識としていただければと思ふ。 ・公開授業において、ICTを利用した授業が多く見られた。ICTは、時間の有効活用等の面において、非常に有効なツールであると思われる。もっとも、生徒に対するアンケート結果からは、BYODの活用状況について意見も出されていることから、ICT教育の有用性について検討を行い、さらなる教育環境の充実を期待したい。
	・3年間を見据えた「総合的な探究の時間」として、進路を意識した大学研究(基本理念から学部構成、カリキュラムの特色やオープンカレッジの感想等)をすることは極めて有意義であると感じた。1年生から、地に足のついた現実的な取り組みをすることで、その後進級毎に段階的に生徒自身の自覚を促し、モチベーションを高め、また相互の刺激にもなるものと思われる。ぜひ今後も継続していただきたい。 ・アンケート結果によれば、進路講演会・ミニ大学・職業人講話等に関し、教員側が高い評価を行い、これに関する生徒の評価は例年高まり、また、保護者の評価も高いことが認められる。このことからすると、教員側の高い意識が、生徒・保護者に伝わっていることがうかがわれる。今後も、教員側のモチベーションが維持され、教員の思いが、さらに生徒・保護者に伝わることを期待する。
	・蒼龍館で行われた神無月文化祭において、生徒らが自ら運営し、多くの生徒が観覧していた。生徒らは、自らの力で、イベントを成功させようと努力しており、実際にイベントを成功させるに至っていた。自身の力で成功体験を得ることができる機会が設けられていることは、教育の場において非常に重要であると感じられる。 ・校長からの話では、生徒自らが被災地への募金活動などを行っていること、今ながでできるのかを考へ行動していることがわかりました。社会に出るときは大事な力になると考える。 ・できる限り多角的に社会との接点をもつ活動や機会を与えていただきたい。実際に活動する様々な職種や人々をもつ社会人の話を聞き触れ合う機会をもつことで生徒の世界観を広げていただきたい。現状に苦しみ糸口を見いだせていない生徒にこそ、新たな発見と希望を与える機会になるものと思える。
	・生徒にとって有意義で効率的良い行事編成を進める。 webやリモートを有効活用し、各種行事等の方向性や可能性及び実施形態を見直し、その精選を進める。 行事の編成や運用について、関係各所との連絡調整を密に行う。 ・交通講話や各行事での生徒指導係からの話等で、自転車通学者者に対して交通ルールやヘルメット着用の重要性を確認させ、交通ルールの順守とヘルメット着用を率先して行う生徒を育成していきたい。

留意点 (1)重点目標と評価項目については、各学校の現状と課題に基づき、実情に合わせて重点化し、設定する。
(2)学校関係者評価については、年度当初に今年度の重点目標の現状と具体的対策を説明し、評価に必要な情報提供を計画的に行う。学校関係者評価実施日は、最終回の学校評価委員会等を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。